

墨田区議会だより

第 23 号

発行 昭和55年7月20日
 発行所 墨田区議会事務局
 〒130 墨田区横網一の6-1
 電話 626-3151(大代表)

第2回定例会

新しい正副議長を選出

激動の80年代に地道な行政を

議長 原 正義氏
 副議長 湯 本 令二氏

今年の第二回定例会は、衆議院議員と参議院議員の同時選挙が行われた影響を受けて、例年よりも長い会期となり、六月十一日召集、六月三十日までの二十日間に行われて開会しました。この会議では、永年在職議員の表彰決議を満場一致で議決し、一般質問があったほか、選挙関係予算二千四百二十三万四千円の追加をはじめ、報告一件、議案八件、請願・陳情十件を議決しました。また、一年間の任期が満了した常任委員会委員の改選と、特別委員会委員の一部交代、新しい議長、副議長の選出、議員選出監査委員の選任同意議案の可決など、議会役職の交代がありました。

まず、初日六月十一日の本会
 議では、議員在職二十五年目を
 むかえた島村福蔵、山崎政吾両

議員に対する、永年在職議員の
 表彰決議が満場一致で議決され
 た後、一人の議員から一般質問

があり、区長、教育長から答弁
 がありました。続いて、区長が
 専断処分した区税条例の報告を
 承認し、衆議院、参議院の両院

議員選挙が同時執行になったこ
 とによる経費の追加二千四百二
 十三万四千円を計上した補正予
 算を即決した後、区長から提出

された議案五件を議題にし、助
 役から、それぞれの内容について
 説明があり、各担当の委員会
 に審査を付託しました。

また、区議会あてに出されて
 いた請願二件、陳情二件も各委
 員会にて審査されました。



議長選挙の開票—開票立会人の注視の下で

員会に審査を付託して、この日
 の会議を終りました。

本会議は、十二日から二十九
 日まで休会し、衆議院議員と参
 議院議員の同時選挙が終了した

二十四日からは、各常任委員会
 と特別委員会が、それぞれ付託
 された議案や、請願・陳情など
 の審査を行いました。

今定例会の最終日、六月三十
 日の本会議では、各委員会が審
 査した議案と、前の議会から引
 き続いて審査していたものを含
 めて、十件の請願・陳情を委員

80年代は、激動の時代とい
 われ、世界の情勢ばかりでな
 く、国内においても、状況の
 激しさと、その変化の早さは
 目をみはるものがあります。

その激動の80年代の幕明け
 の年に、私は、さる六月三十
 日の本会議で、議員多数のご
 推挙をいただき、はからずも
 区議会議長という要職に就任

いたしました。まことに身に余
 る光栄と感激すると共に、その
 責任の重大さを痛感しているし
 たいであります。

今回行われた衆・参両院の同
 時選挙によって、国の政治も大
 きく動きだしていますが、地方
 自治体としての区政は、そうし
 た激動の中にあっても、住民の
 生活に密着した、地道な行政を
 いたします。

就任にあたって

墨田区議会議長 原 正義

新しい常任委員会委員決まる

任期は一年間

今定例会最終日(六月三十日)
 の本会議で、総務委員会を
 じめ、四つの常任委員会の委員
 が、任期満了したことに伴って
 新しく選ばれました。

しかし、その任期が、一年と
 決められているために、今回改
 選が行われたものです。

また、四つの委員会の新しい
 正副委員長も決まりました。

一部の特別委員会で 正副委員長替わる

五つの特別委員会のうち、四
 つの特別委員会の一部の委員が
 辞任したことに伴い、後任委員
 が、選ばれました。

新しい委員とともに、五つの
 特別委員会は、これからも今ま
 でどおり活動を続けます。

これにより、特別委員会の正
 副委員長は、一部の変更があり
 次のようになりました。

委員会名	委員長	副委員長
総務委員会	原 正義	湯 本 令二
区民衛生委員会	加藤 耕造	山本 賢太郎
建設委員会	小池 静雄	小早川 恵子
厚生文教委員会	西原 文隆	中村 光雄
特別委員会(一部)	初沢 英夫	牛山 れい子
特別委員会(一部)	村瀬 政幸	原 正義
特別委員会(一部)	湯本 令二	湯本 令二
特別委員会(一部)	柴田 来治	柴田 来治
特別委員会(一部)	吉田 武三郎	吉田 武三郎
特別委員会(一部)	森下 三七人	森下 三七人

第二回定例会 会議開会状況

第二回定例会中に開かれ
 た会議は次のとおりです。

日付	開会時間	議題
6月11日	10:00	開会式、議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問、議長選挙の開票
6月12日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月13日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月14日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月15日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月16日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月17日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月18日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月19日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月20日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月21日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月22日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月23日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月24日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月25日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月26日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月27日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月28日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月29日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問
6月30日	10:00	議員表彰、島村福蔵・山崎政吾両議員の一般質問

地区会館に講習会の出前を

区長検討を約束

問 地区会館にある長寿室、読書室の利用範囲を拡大して、町の婦人部や一定のグループにも、自主管理を原則とした使用を認めたらどうか。

答 地区会館は、重要な公簿のある出張所が一諸なので、利用については、慎重に考える必要があるが、現在は、管利を目的としない団体や、町会の婦人会その他にも広く開放している。PRが行き届かない点は努力したい。

問 区立幼稚園に障害児の受入れを

問 年々、幼稚園の対象児が減少しているが、公平の確保と民間活力の有効利用ということから、一般の幼児は私立にまかせて、区立は障害を持つ児童や、生活困難家庭のお子さんを入園させたかどうか。

答 幼稚園は、学校教育法に定められた教育機関なので、経済的な条件によって、入園を規制制約することはできないが、障害児の受入れ体制の整備については、今後も努力していきたい。

問 区内の青年層の定住率を高めるためにも、結婚適齢期を迎える

問 区内の青年層の定住率を高めるためにも、結婚適齢期を迎える

答 区内の青年層の定住率を高めるためにも、結婚適齢期を迎える

横断歩道設置など採択

請願・陳情の審査結果

今定例会では、区民のみならずから提出された十四件の請願・陳情が、各委員会で審査されました。その内十件について結論を出し、三十日の本会議で決定しました。

採択としたもの

用途地域の変更等に関する請願

商業地域を近隣商業地域に指定変更

用途地域の変更等に関する陳情

商業地域の高度無指定を第三種高度指定に変更

用途地域の変更に関する陳情

用途地域の変更に関する陳情

用途地域の変更に関する陳情

用途地域の変更に関する陳情

用途地域の変更に関する陳情

用途地域の変更に関する陳情

用途地域の変更に関する陳情

用途地域の変更に関する陳情

用途地域の変更に関する陳情

墨田区政に二十五年

永年在職議員を表彰

島村福蔵議員



副委員長など歴任、特別区政功労者、勲五等双光旭日章叙勲



山崎政吾議員

今回の定例会第一日目、六月十一日の本会議で、島村福蔵、山崎政吾両議員が、永年在職議員として表彰決議を受けました。これは、両議員が、七回にわたって区議会議員に当選し、今年で在職二十五年を迎えたことに伴い、その永年の区政に対する功績をたたえ、区議会が表彰したもので、今後、区議会委員会室には、両議員の写真が永くかけられることになっていきます。

墨田区議会議員として、永年在職議員の表彰決議を受けた方は、これで四人になりました。

趣旨にそうよう努力されたい

用途地域の変更に関する陳情

趣旨にそうよう努力されたい

用途地域の変更に関する陳情

趣旨にそうよう努力されたい

用途地域の変更に関する陳情

趣旨にそうよう努力されたい

用途地域の変更に関する陳情

趣旨にそうよう努力されたい

用途地域の変更に関する陳情

趣旨にそうよう努力されたい

とせず、だれでも直接提出することができます。なお、請願も陳情も、提出した後の区議会における扱いは、まったく同じです。

また、墨田区議会は、請願・陳情が「採択」、「不採択」いずれの場合でも、その結果について提出者に通知しています。

▽お問合せは、区議会事務局議事係へ ☎626-1315 内線246

〇様式 の 例

〇〇〇〇〇に関する請願 (陳情)

紹介議員

請願(陳情)項目

請願(陳情)理由

昭和55年〇月〇日

請願(陳情)者

住所

氏名

ほか〇名

墨田区議会議長

〇〇〇〇 殿

〇〇〇〇 殿

〇〇〇〇 殿

〇〇〇〇 殿

隅田川のほとり

堅川

「おーい、そろそろ終りにして上がってこいよ、今日は元徳様の縁日だ、ひとつ風呂あびておまいりに行かないか？」

「あっ、そうか、五日だったな、それじゃ、おーととととと。」

「おーい、そんなにあわてなよ、いかだから落ちるじゃないか。」

元徳稲荷は三ツ目通りと堅川が交差する三之橋際にあります。この堅川は、今から三百二十年前ほど前に起きた明暦の大火の後に掘られたもので、当時「火

事とけんかは江戸の華」と言われるほど火災が多かったことから、幕府は、市街地を火災に強い街にするため、道路を広げ、各地に小路を作るなどの区画整理を行いました。

また、大名、旗本らの下屋敷を周辺地を作るための広い用地が必要となり、隅田川の東側に本所の開拓を行ったのです。

本所は、今でいう「ニュータウン」でした。この時掘られたのが堅川・横川で、物資の輸送、水上交通に利用され、また、堅川の川筋は

木材の町として発展しました。三之橋際の元徳稲荷は、もと

夏は、アセチレンランプのにおいが夜空に漂い、威勢のいいバナナのたたき売りなどの声があちこちから聞え、冬ともなれば、甘酒のほのかなかおりが流れる縁日は、市民生活の潤いだったのです。

現在の堅川はその役目を終えて、疲れをいやすかのように高速度路の下を静かに流れています。

いろいろな思い出を持つ元徳稲荷の縁日も、今は二十二日に

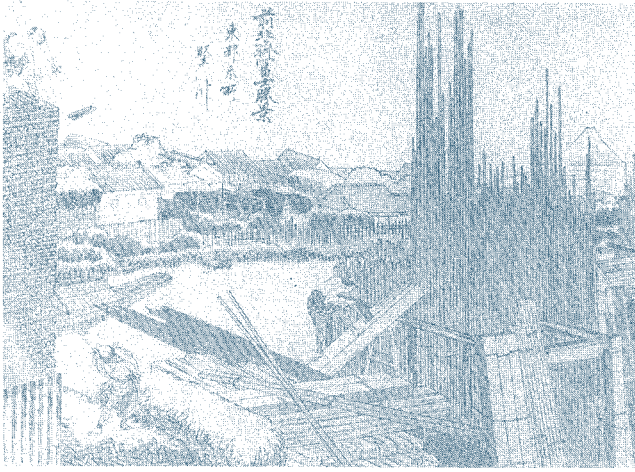
いろいろな思い出を持つ元徳稲荷の縁日も、今は二十二日に

いろいろな思い出を持つ元徳稲荷の縁日も、今は二十二日に

いろいろな思い出を持つ元徳稲荷の縁日も、今は二十二日に

いろいろな思い出を持つ元徳稲荷の縁日も、今は二十二日に

いろいろな思い出を持つ元徳稲荷の縁日も、今は二十二日に



北斎が描いた江戸時代の堅川

ためいき

今年の夏も水の大切さを強く印象づけられる季節となりそうです。水不足、省エネ... こういふときをきびしさを感ずるときというのでしよう。

区議会の構成が、新しくなりました。これからも、より一層、がんばります。

区議会事務局 調査係 ☎626-1315 内線246